



2020年度（令和2年度）1学期 スタート

校長 川原田 康文

学園内の木々が花や葉を芽吹かせ、春らしい季節になってきました。春の息吹は、子どもたちの新たなスタートを応援してくれているように感じます。

令和も2年度が始まりました。お子さんのご入学、ご進級おめでとうございます。

子どもたちは、新しい学年・新しい学級での学習や生活に希望といくらかの不安を抱いて入学式、始業式を迎えたことと思います。冬からの新型コロナウイルスの拡散に伴い、子どもたちの健康を第一に考え、休校の継続を決断させていただきました。まだ先の見えない状況が続いています。毎日の子どもたちの生活に関してもご負担をおかけしております。

すでに別途通知でお伝えしておりますが、遠隔授業を実施します。教員も子どもたちも新たな挑戦となります。この期間は、子どもたちが自分で自由に学習をする絶好の機会です。応援をしていただければありがたいです。まだしばらく続きそうですが、もう少し後から始まる新学期がよりスムーズにすすんでいきますよう、保護者の皆様方にご協力をよろしくお願いします。

さて、私たちの体の中には、いくつの骨があるのでしょうか。

大人と赤ちゃんの骨の数はどちらが多いのでしょうか。

アメリカ、イリノイ州にあるノースウェスタン大学の人類学の准教授であるエリン ワクセンバウム氏は、10年以上にわたって人間の骨科学の研究をされています。彼女は、「私たちが生まれる前でさえ、骨は実際に絶えず変化し進化している」と言います。そして、大人は赤ちゃんよりも骨が少ないという事実があると言っています。また、ワクセンバウム氏は、「私たちの体の骨の大部分は、子供や新生児と大人では違います」と言います。成人の人間の骨格系には、約 206 の骨がありますが、新生児には、なんと 300 以上の異なる骨があるそうです。

私たちの体は、毎日食べる栄養から作られています。健康な体を作るために、バランスの取れた新鮮な食べ物を食べることは必須です。そして、しっかりと寝て、しっかりと運動することは、子どもたちが健康で大きく成長する基礎となるものです。このことは、小学部の教育がこれまで重視してきた考え方そのものであると考えます。

私は、この度、竹下昌之先生の後任として、第 18 代目の校長として就任いたしました川原田康文でございます。3 年前に小学部に副校長として着任し、小学部・中学部でプログラミング教育の全学年での展開や ICT 教育、英語教育の推進を中心に組み立てまいりました。そして、校長として、これまで小学部で行ってきた教育活動をもう 1 ステップ高めるために、教職員にコーチングの研修を取り入れ、教育活動に反映させていく所存です。子どもたちが、自立した学習者（小さなエンジンを持った人材）となるために、学習にあたり到達点となる場所つまり目標点を明確し、そこにたどり着くように、全員で支援を行っていきたいと思っております。

保護者の皆様のご支援・ご協力をいただき、この重責を全うしたいと存じます。改めまして、よろしくお願い申し上げます。